

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ（エス）を楽しみ、参加する（エンジョイ&ジョイン）ための情報提供がジョイエスの役割です



## 生活クラブ農業体験農園「のらっこあきる野」

募集対象：組合員とその家族で定期的に通える方  
利用期間：2025年3月下旬～2026年1月末まで  
利用料金：年間44,000円（税込）  
※指導料・農具・種苗・収穫物代金含む  
募集区画数（予定）：20区画 ※1区画約24㎡

場所：あきる野市下代継（JR五日市線 武蔵引田駅または秋川駅より徒歩12分）  
申込締切：2025年1月13日（月）  
※申し込み多数の場合は抽選。入園説明会のお知らせを別途ご案内します  
お問い合わせ：政策推進課 TEL 03-5426-5204

お申込みはこちら▶



2025年度  
参加者募集

のらっこあきる野で、種子や農法にこだわった野菜づくりを楽しく体験しませんか？  
10月の講習会では、冬野菜の種まき・定植・栽培管理の実演と説明を行い、それぞれの区画で作業をすすめました

### P2-5 特集 「今、ここ」から変えていくエネルギー政策

私たちの手でできることを始めよう

【鼎談】

平田 仁子さん（一般社団法人Climate Integrate 代表理事）  
山川 勇一郎さん（株式会社さがみコファーム 代表取締役社長）  
加瀬 和美さん（生活クラブ東京 理事長）

### P6 イベント案内（展示会・協同村・生活クラブの学校）

リレーコラム

### P7 「生産量0.06%」とても貴重な国産加工用トマト わたしの声 Q & A・わたしの声カード など

### P8 隙間時間を活用してデポーをサポート

## 年末年始スケジュール

### 🚚 配送をご利用の方へ

12/31（火）～1/3（金）の配送はお休みです  
一部配達曜日に変更があります。ご注意ください。

#### 年内の最終配達

##### ●月曜・火曜配達の方

12月5回は一日ずつ前倒しの日程でお届けします。

・月曜配達の方 12/29（日） ・火曜配達の方 12/30（月）

##### ●水曜・木曜・金曜配達の方

12月4回が年内最後のお届けです。配達曜日の変更はありません。

・水曜配達の方 12/25（水）

・木曜配達の方 12/26（木）

・金曜配達の方 12/27（金）

年始の配達 1/6（月）から配達開始

### 🏠 デポーをご利用の方へ

年内は 12/30（月）まで開所

年始は 1/6（月）からスタートします

組織の概要（2024年10月末現在）

- 組合員数（デポー含む）92,870人 ●10月度加入817人 / 脱退553人
- 10月度利用高21億2,527万円 / 世帯当り29,558円（デポー除く）





山川 勇一郎 さん

2015年たまエンパワー(株)を設立し、代表取締役社長に就任。2019年 農業法人(株)さがみこファームを設立し、同年相模原市で初となるソーラーシェアリングを手掛ける



平田 仁子 さん

1996年よりアメリカの環境NGOで活動し、1998年よりNPO法人 気候ネットワークに参加。その後2022年に(一社)Climate Integrateを設立し、同団体代表理事に就任



加瀬 和美 さん

北東京生活クラブ理事長を経て、2023年度より生活クラブ東京理事長

深刻な状況にある気候危機に対して、どのように向き合うのか……。国の政策がなかなか変わらない中、私ひとりにできることがあるのだろうか、無力感が募る人も多いのではないのでしょうか。今回は、今、目の前にある危機に対し、日々活動に取り組んでいる平田仁子さん、山川勇一郎さんをお招きし、加瀬和美理事長と鼎談を行いました。市民がつながりあい、ポジティブに世の中を変えていくためにはどうしたら良いかを考えます。

## 気候危機の問題を「私」に引き寄せる

### 「気候危機の現状」から始めるのをやめる

**加瀬** 生活クラブに加入して30年ほどです。生活を変えることが社会を変えるという活動に魅力を感じ、現在は環境政策を担当しています。

**平田** 以前はNPO法人気候ネットワークに所属し、気候変動対策に関わる活動を長く続けてきました。しかし、気候変動に関する情報はさまざまで、なかなか理解が広がらないため、確かな情報——FACTを示し幅広い行動に繋がりたいと考え、シンクタンクClimate Integrateを立ち上げました。

**山川** 東日本大震災を機に、電気地産地消を進めようと地元の多摩市で太陽光発電の事業たまエンパワー(株)を立ち上げました。2012年にFIT\*が始まり再エネが身近になる一方、メガソーラーによる環境破壊も顕在化し、こうした良いか考えていた時に出会ったのがソーラーシェアリング\*2。エネルギーと農業と地域の

問題を解決する糸口になるのではと、新たに(株)さがみこファームを立ち上げ、相模原市の耕作放棄地でソーラーシェアリングの取組みを始めました。その電力を、生活クラブでんきにも供給しています。今はパネルの下でブルーベリーやワイン用ブドウを栽培しています。

**加瀬** まずは、気候危機の現状について伺えますか。

**平田** いきなりですが、気候危機がどんな状況か——そこから始めることをやめませんか？ 気候危機については今や小学生の時から学んでいます。それでも、解決するための行動につながっていません。大多数がどこかで思考停止しているように思います。

**山川** いくら危機感をうったえても、前に向かう力は生まれづらいですよ。

**平田** 気候危機は、知れば知るほど苦しく厳しいものです。だけれどもつらいものは見たくない。一方、危機を理解して何かしたいと思っても、問題が大きすぎて途方に暮れ、諦めてしまう。「牛乳パックの

リサイクル?」「節電?」と始めても、そこから先自分でできることが見えずに思考停止に陥る。これからは、そんなにこまめな「やらなくちゃいけない」ではなくて「こんなチャンスがある!」「こんなことができる!」と、本質的な解決策を、自分自身に寄せられるように提案していきたいと思えます。

**平田** これまで私たちの日常の「外側」に位置付けられてきた気候危機を、一人ひとりに引きつけるには工夫が必要です。今年の夏も猛暑が続く、熱中症アラート、ゲリラ豪雨などあきらかに気候がおかしいので、認識する機会も増えたと思います。これを「自分の身を守る」だけにとどめず、いかに「未来に向けて今自分ができること」につなげられるかが大事です。

**山川** 20代のころ、環境教育に携わっていました。自然に触れ「楽しい」と思う先に、行動の変容があります。たとえば、修学旅行の富士の樹海コースでは、行く前は「なんで樹海になんか」という反応の生徒が、実際に樹海で自然に触れると「遊園地より楽しかった」と言う。小さな一歩ですが、これはゼロをイチにする意識の変化です。電気も、みんなが毎日使っているものなのに「エネルギー」と言ったとたん専門的でとっつきに

私たちの手でできることを始めよう

# 「今、ここ」から変えていくエネルギー政策



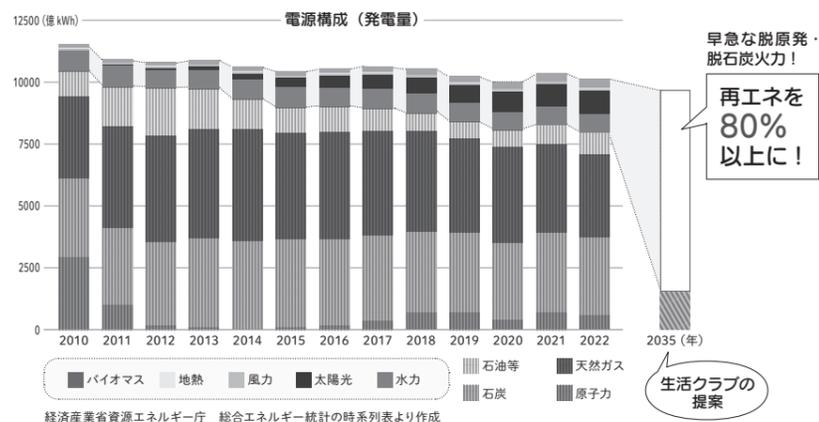
## 脱原発、脱炭素社会の実現と再生可能エネルギー中心の社会をめざして

日本のエネルギー政策の指針を定めるエネルギー基本計画は、現在第7次策定に向けて検討されています。気候危機による影響が年々大きくなる中、今回の改訂は未来を分ける分水嶺です。しかし、政府は2022年にGX(グリーン・トランスフォーメーション)実行会議にて原発推進方針を表明。石炭火力についても水素・アンモニアの活用を言い訳に延命をはかっています。脱原発・脱炭素社会の実現と、再生可能エネルギーの推進を求めて2023年度に生活クラブで行ったエネルギー政策提案の活動を振り返ります。

## 生活クラブで行ったエネルギー政策提案活動

2024年度にエネルギー基本計画が見直されることを見込み、2023年度に国へエネルギー政策の転換を求める署名活動を行ったほか、各地域で自治体への陳情・請願活動を進めました。

- ▼国に求めること
- 1. 脱原発、脱石炭火力を脱炭素政策の柱として早急に実現すること
- 2. エネルギー基本計画を早急に改正し、2035年の再生可能エネルギー電力目標を80%以上とすること
- 3. 発電と送配電の所有権分離と、再生可能エネルギーを優先接続・優先給電すること



▲院内集会の様子

### 署名活動

生活クラブ連合会全体で10万筆を目標に活動し、東京では2万3,728筆、連合会全体では目標を上回る11万2,957筆を集めました。2024年2月には院内集会を行い、国に提出しました。

### 自治体への活動

各地域で自治体への請願・陳情活動を展開しました。東京都内では10自治体で請願・陳情、4自治体で意見書を提出しました。東京都議会に対しても陳情を行いました。残念ながら不採択という結果でした。



▲生活クラブ東京の意見書を東京都に提出

## エネルギー政策提案活動に参加して 地域の実践が再生エネ80%に届くカギ!

国が原発推進に舵を切ったという報道に、どうにかなくてはと思い、活動に参加しました。署名活動で話をすると多くの方が「そうだね」と賛同してくれて、エネルギーのことを一人ひとりに伝えるよい機会になりました。葛飾区では請願を行い、区議会で陳述しました。しかし残念ながら不採択。「再生エネは必要だとは思いますが、区としては国の政策に従う」という内容でした。ほかにも「再生エネ80%は非現実的。発電電離で電力は不安定になる」など、議員に知識がなく、私自身うまく説明ができず、悔しい思いをしました。今は地域の小規模発電が再生エネを増やすカギだと考えています。今年の夏は本当に暑く、子どもが外で遊ぶのも厳しくいらいでした。そんな時、公園にソーラーパネルをつけて、その電力で扇風機を回せたら子どもの居場所にもなります。足元から考えて、実行していきたいですね。

北東京生活クラブ 理事 泉美智江さん



\*1 FIT: 再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度

\*2 ソーラーシェアリング: 営農型太陽光発電。農地の上部空間に太陽光発電設備を設置し、営農を継続しながら発電を行う取組み



加瀬和美さん

近い存在になる。だから、さがみこファームでは、ブルーベリーなどの収穫を楽しみながら、ソーラーパネルという再エネにも出会えることをめざしています。

加瀬 楽しさの先に、学びがあるのがいいですね。

平田 これから先、熱波や災害、温暖化により、人間だけでなくさまざまな生態系を含む多くの命の危機が迫っています。IPCC C\*3による今の予測では2100年の気温上昇には幅があり、3度

私たちの声を政策に反映させるには

動く気配のない国の政策

加瀬 国のエネルギー基本計画の議論の様子はいかがでしょうか。

平田 現状では「再エネ比率を大きく引き上げよう」という動きはなっていない。国の討議では、今の化石燃料中心の社会をあの手の手で守ろうとしています。石炭・ガス・原発など大規模集約型

などいろんな取組みをしていますが。でも、それが住民に届いていない。橋渡しが必要になると感じました。

平田 国は、AIやデータセンターなどでより多くの電力が必要になると、ガス火力や原子力発電を増やそうとしています。また、GX推進機構では、リスクがあっても銀行が投資しやすいようアンモニア混焼\*5発電の開発に公的資金を投入しています。逆に、太陽光や風力が果たせる役割を過小評価し、再エネに冷や水を浴びせてい

国を変えるにはまず地域から！ さがみこファームと生活クラブの実践

さがみこファームの実践からFACTを示す

山川 さがみこファームでソーラーシェアリングを行う際、東京と神奈川の組合員からカンパを募りました。共感をひろげたいと思ひ提案しましたが、2カ月でなんと約2百万円が集まり、組合員のパワーを感じました。

加瀬 現在、生活クラブでんきの電源として、秋田県にかほ市で生活クラブ風車「夢風」、山形県遊佐町では「庄内・遊佐太陽光発電所」が稼働しています。一方的な搾取にならないよう、交流を続け、地域の活性化につながる基金を造

近く上昇する可能性があります。2100年はすぐそこ。私たちの子や孫が生きている年代です。今行動したら2100年までの気温上昇を1.5度に抑え、これから生まれる命を守ることもなる。そのため手段は、私たちの目の前にたくさんあるんです。「どうせ変えられない」という認識を超えて、その手段にいかにか手をのばせるか、だと思います。

山川 今は至るところでSDGsが言われるようになりましたが、本当に持続可能な社会をつくらうとしているのか、真偽を見極めることが大事だと思います。

平田 そうですね。入り口は、楽しく、やさしくで良いのですが、それがどこへ向かうのかを見極めることが大切です。

のエネルギーの仕組みそのものに問題があるのに、その根幹は維持し、イノベーションでどうにかしようとしている。これまでの枠組みを変えず「やってる感」を出しているだけに見えます。

加瀬 未来を考えると今がギリギリのタイミングなのに...。平田 審議会のメンバー自体に問題があります。再エネを推進する人がほとんどメンバーに入っ

るように見えます。山川 再エネ業界の力が弱すぎるんじゃないでしょうか。平田 現状ではそれもありません。だからこそ、11万人の声が大事です。私たちが実践し、底力を見せないと「やっぱり再エネはダメだ」と言われてしまう。足元でできるエネルギー転換の実践と、それを下支える国のエネルギー政策の転換を同時に進めていく。その実現へ、手を取り合せて共感を広げていくため、私たちが覚醒する必要がある。

成しています。でも、やっぱり東京からは遠い。今回、さがみこファームと連携することで、ぐっと近い場所でソーラーシェアリングに取り組めた意義は大きいです。すぐそこにあることで、再生可能エネルギーをより身近に、自分のこととして捉えることができます。ソーラーシェアリングを始めた当初、地域の農家のみなさんはどんな様子でしたか。

山川 農業関係者からは白い目で見られました。パネルの下で農業ができるのかと思われていたのでしょう。潮目が変わったのは、夏の猛暑。暑さで地域の生産量が落ちたときも、ソーラーシェアリン

いませぬ。今すぐにメンバーを変えることはできませんが、だからこそ、声をあげていくことが大事です。たとえば「なんで家の中がこんなに寒いのか」という疑問から、行政に「断熱工事の補助金を出して」と、しきみを変えるための要望を出していくことです。

加瀬 断熱することで、省エネにもつながりますね。

山川 さがみこファームでソーラーシェアリングを進める時も、規制の壁、意識の壁、いろんな壁にぶつかりました。行政は「こういう法律があつてできない」と言うけれど、調べると30年前の法律。世の中が変化し、法律自体がそぐわなくなつても、法令順守が第一になつていってます。それでも、声をあげ、共感を得ることで行政を動かすことができました。

平田 いいですね！国の政策など言っても変わらないように思えることに声をあげ続けるのは、しんどい面もあります。だから小さな実践をもとに「やったらできた！」を積み重ねていくことが大事。それには、地域で声をあげるのが良いんです。「子どもの通う小学校に断熱材を入れて暑さから子どもを守れた」「地域の施設に太陽光発電を設置した」など、国の政策はすぐには動かなくても、地域の実践や条例なら動かせることはたくさんあります。

山川 国が相手だと問題が大きすぎて、心が折れたりしませんか？

平田 国の審議では「農地にソーラーパネルを建てるなんてけしからん」「再エネはあてにならない！」などの極端な議論も飛び交い、再エネ中心のエネルギー転換はできないと本気で考えられていたんです。現場からそれをひっくり返すことが大事です。生活クラブは食だけでなくエネルギーも生み出している。そうした事実を見せるのが効果的です。

グの畑だと生育が良い。パネルの日陰が、作物にとつてもそこで働く人にとつても有益だと気づいてもらえたと思います。

住みたいまちのビジョンをつくる

加瀬 必要なのは「こういうまちに住みたい」というビジョンに、エネルギーのこともあわせて描くことだと思います。東京の農地を守る活動として始まった生活クラブ農園あきる野でも、ソーラーシェアリングができるといいなと思つています。

山川 東京都の再エネ担当職員がさがみこファームに視察に来た時「東京ではなかなか難しい」と話していたので、生活クラブ農園あきる野のことを紹介したんですよ。実現できるといいですね！

加瀬 生活クラブのエネルギーの活動の原点は、1986年のチヨルノービリ原発事故。その事故で提携生産者の茶葉が汚染されて供



平田仁子さん

平田 まさか！私はむしろ燃えるタイプです（笑）山川 & 加瀬 さすが！（笑）

11万人の声を輝かせるには

加瀬 昨年度、エネルギー政策提案活動で脱炭素・脱原発と再エネ推進を求める署名に取り組み、11万筆を集めました。その声を改定に反映してほしいと願っています。

平田 11万人は本当に大きい数です。一人ひとりの願いや思いがまつていますね。この力をどう響かせるかを考えたいです。11万人の声をそれぞれの地域の議員に改めて届ける方法もあります。街頭演説している議員に「気候危機のことをどう考えていますか」と直接聞いてみたらどうでしょう。気候危機を気にする人がたくさんいることを見せることが大事です。

加瀬 生活クラブでも、エネルギーの自治について、都議会議員にロビイングしたり、組合員が自分の住む自治体に話を聞きに行ったりました。自治体も、住民が再エネに切り替えると補助金を出す

給できなくなったことを契機に、脱原発の活動を続けてきました。2011年3月の東京電力福島第一原発事故でさらにその思いを強くしました。2016年の電力自由化で、生活クラブでんきがスタートし、家庭の電気を再エネ由来のものに変えられるようになりました。東京の組合員の約5%が切り替えましたが、もっと増やしていきたいと活動しています。

山川 こんなに意識の高い人が集まっているのに、契約者がまだ5%というのに驚きました。まだまだ伸びるはず！平田 生活クラブは組織力もあり意欲の高い人もたくさんいます。大事なのは自分の組織だけでなく、やる気のある団体や組織と連携すること。得意分野をつなげることで新しいうねりができます。

加瀬 生活クラブだけではなく、地域の中で手を取りあえる団体や人とつながることが大事ですね。こういうまち、こういう未来をつくりたい。それに賛同する人を増やして、再エネ中心の社会を実現させたいです。



山川勇一郎さん



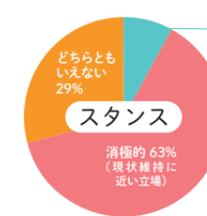
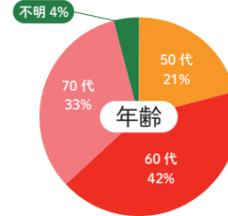
生活クラブでんきに切り替えよう

生活クラブでんきは、さがみこファームをはじめとした再生可能エネルギーを中心に供給しています。自宅の電気を切り替える、お友だちに電気の切替を勧める、そうした取り組みが、再生可能エネルギーの力を強くする第一歩です。



学習会案内
山川勇一郎さんを講師に迎え学習会を開催します。ぜひご参加ください。
2025年2月17日(月)
10:30 ~ 12:30
場所: 生活クラブ館 (オンライン併用)
小田急線「経堂駅」から徒歩3分

\*4 2024年4月にClimate Integrateが発行している『日本の政策決定プロセス:エネルギー基本計画の事例の検証』より、委員構成を検証した内容は右記の通り
エネルギー基本計画の策定にかかる主要会議体の委員構成 (第6次-第7次) より基本政策分科会を抜粋



化石燃料を中心にした既存システムからの脱却に対する姿勢をClimate Integrate独自の判断基準に基づき評価



# Q わたしの声 Q & A

**Q:** 消費材のかまぼこなどの練り物にリン酸塩は使われていますか。

**A:** 生活クラブの練り物類はすべて、リン酸塩を使わない「無リンすり身」が原料です。



市販の練り物の多くは、原料の白身魚をすり身にして、1年ほど冷凍保存します。その間たんぱく質の変性を防ぐため、リン酸塩が使われます。しかし、リン酸塩は体内でカルシウムの吸収を抑制する働きがあり、過剰摂取には注意が必要です。また、現在の食品表示法では、加工品の原材料であるすり身に添加物として使われているリン酸塩には表示義務がないため、使われているのか分かりにくくなっています。生活クラブの練り物は「リン酸塩無添加のすり身を使用する」「保存料・合成着色料無添加」「包装形態の簡素化」を条件としてつくられています。質の高い原料を使うなど、生産者が試行錯誤の結果実現させた「無リンすり身」の練り物類を、ぜひご利用ください。

## Instagramキャンペーン

Instagram で生活クラブについての写真とコメントを投稿し応募すると、抽選で30名に2,000円相当の消費材セットをプレゼント！

**Step1** 生活クラブ東京のアカウント (@seikatsuclub\_tokyo) をフォロー

**Step2** 「#生活クラブ使ってみたキャンペーン」をつけて投稿

応募期間：2024年12月1日～2025年2月28日

キャンペーン詳細はこちら▶



## 10月 理事会報告 議事抜粋

- 2025年度東京都予算編成に関する提案書
- たねと食とひと@フォーラム 2024年度講座への賛同について
- 2024年度生活クラブ東京総代意見交換会および新年交流会について
- 新たな中間支援組織の設立に向けた中間方針案と意見集約および今後のスケジュールについて
- 家事支援事業実験取り組み総括案と今後の進め方について
- NGO 共同声明「停戦を、今すぐに。」への賛同

## 東京理事の 릴레이コラム

### 「生産量 0.06%」とても貴重な国産加工用トマト



世界の加工用トマトの生産量は2023年時点で約4,441万トン。国別ではアメリカ1,156万トン、中国800万トン、イタリア540万トンの順になっています。日本は2.7万トンで約0.06%です。1974年11月に誕生した「生活クラブのトマトケチャップ」は50年を迎えました。①合成添加物不使用 ②国産加工用トマト使用 ③びん容器使用、の3つを組合員から生産者に要望し、今日までにさまざまな変更や改良に取り組んできました。そんなトマトケチャップも利用が減少しており、2018年の利用人員率48%から2023年には39%と推移しています。

生活クラブのトマトケチャップの製造を支えている、加工用トマトの生産者である(有)丸エビ倶楽部、種子や苗の提供・栽培指導・加工を担う日本デルモンテ(株)、提携生産者のコーミ(株)の三社が業務連携協定を結び、主原料である国産加工用トマトの生産を守り、日本の食料自給に貢献しています。また、国内産地の課題解決に向けた新たな栽培契約や、提携産地を広げ生産現場を支えるしくみにも取り組んでいます。

私たちが利用するだけでなく、生産現場にも目を向けて生産する消費者として取り組む時代にきています。国産加工用トマトを守りたいという強い想いが産地をつくり、次世代につながっていきます。ぜひ、生活クラブのトマトケチャップをきっかけに、お友だちに生活クラブを紹介してほしいと思います。

(生活クラブ東京 専務理事 金丸 正樹)

お友だちに広めよう! トマトケチャップ紹介大作戦

### トマトケチャップ 消費材デビュー50周年!

2024年12月末まで お友だちに生活クラブを紹介いただいたあなたに **トマトケチャップ** をプレゼント!



## わたしの声 カード

生活クラブや消費材への意見・要望、企画申込みはこの用紙で。

回答は、組合員活動の経験を活かして専任スタッフがお答えしています。

ご希望のイベント名をご記入ください

氏名	電話番号	提出日	事務局記入欄
	センター 組合員 デポ ード	/	センター/デポ 東京本部 / 印

〈お願い〉 ご記入の内容について該当項目に○をつけてください。

- ①提案・要望・質問
  - ②みんなに伝えたいこと
  - ③ジョイエスの感想
  - ④企画申込み
  - ⑤その他
- 質問には2週間程度でお答えしていますが、詳しい調査が必要な場合などさらに時間をいただくことがあります。※事故品の連絡は現物を保存のうえ、すぐにコールセンター・デポへお電話ください。生鮮品の報告は翌週までです。※配送をご利用の方は配達便に、デポをご利用の方は各デポのフロアワークスまでご提出ください。

※ご記入いただいた情報は目的以外、または次の条件以外では第三者に開示しません。  
①ご本人の同意がある時 ②ご本人と特定できない状態で開示する時 ③生活クラブの関連団体、提携先より回答することが望ましい場合。

生活クラブ東京 WEB サイトからも提出できます。みなさんの声をお待ちしています。

## 展示即売会

スーツ・ジャケット・ワイシャツのお仕立て サイズやデザインなど細かいところまで好みにあわせてお仕立てします。約4週間でお届け。

### ●デポ一国領駅前 展示会

12月7日(土) 8日(日) 10:30～17:30

会場：調布センター (調布市国領町3-4-3)

TEL: 042-442-0710 (デポ一国領駅前)

同時出展：【両日】宝飾品(かたやま工芸)、メガネ(アイ・メイト)、シルクインナー(PeaPod)【8日のみ】靴(パラマウント)、婦人服(ファーレ)、生活雑貨(日本月桃)

### 展示会関連

TEL 03-3324-4502 (10:00～16:00)

定休日：水・日(祝日は営業)

### ●久月 正月飾り・ひな人形

#### 展示即売会

11月23日(土)～12月8日(日) 9:30～18:00

正月飾り・早期ひな人形

1月18日(土)～2月2日(日) 9:30～18:00

ひな人形

会場：久月浅草橋総本店(台東区柳橋1-20-4)

TEL: 03-5687-5176

正月飾り・ひな人形を特別価格で購入できます。組合員確認ができる、配達伝票やデポカードなどをお持ちください。



羽子板

破魔矢

### ●きく屋宝石店 クリスマス催事

12月5日(木)～12日(木) 10:00～19:00

※8日(日)は18:30まで

会場：(株)きく屋宝石店 渋谷・宮益坂本店(渋谷区渋谷1-8-7)

キュートなプチジュエリーから、ゴージャスなダイヤジュエリーまで取り揃えております。ご来場お待ちしております。

### ●東京真珠 展示会

銀座の地で約60年、真珠・ダイヤモンドの大卸をしている宝飾品総合卸商社です。組合員に直接提供できるので、高品質なジュエリーを低価格で購入可能です。

### ○謝恩セール

12月6日(金)～8日(日) 10:30～19:00

※8日(日)は18:00まで

会場：時事通信ホール2階(中央区銀座5-15-8) 広々とした会場でゆっくりとご覧いただけます。

### ○クリスマスセール

12月18日(水)～22日(日) 11:00～19:00

会場：東京真珠(株)銀座ショールーム(中央区銀座6-16-3)

普段がんばっている自分へのご褒美にも! お手頃価格で多数取り揃えています。

### ●天地堂 ランドセル

2025年モデル発売中! 人気カラーから品切れになります。ランドセルをお買い上げの方にもれなく、防水用カバーをプレゼント。カテゴリーご希望の方は、お電話または右上の二次元コードよりお申し込みください。

### 事業部

TEL 03-5426-5206

### 協同村

豊かな自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの施設です

入材料：510円(4歳～小学生310円)

駐車料：300円/1日(3/15まで)

【NPO 法人地球野外塾との共催企画】

### ●薪割りときき火料理デイキャンプ

1月19日(日) 9:30～16:00

参加費：5,000円/1人

3つの方法で作った薪で、きき火と料理を作ります。

### 協同村ひだまりファーム

あきる野市戸倉863

TEL 042-596-0103 休村日：火・水

### 生活クラブの学校

受講料は組合員価格。記載のない場合無料 オンラインの記載がない場合は会場のみ 会場記載がない場合は生活クラブ館(世田谷区宮坂3-13-13)開催

### 【環境政策委員会主催企画】

#### 平和フォーラム

### ●終わらない戦争を終わらせるには～私たちに何ができるか～

(オンライン併用)

12月7日(土) 10:00～12:00

講師：伊藤千尋さん(ジャーナリスト)

平和活動の一環として、12月にパレスチナ産オリーブオイルを取り組みます。オリーブオイルを入りに、中東情勢についての理解を深め、改めて「平和」の問題に向き合います。

### いのちと水の連続講座(全4回)

### ●第4回 高田先生に聞く「水のはなし」～身近な野川から太平洋まで～

1月18日(土) 13:30～15:30

講師：高田秀重さん(東京農工大学教授)

会場：オープンイノベーションフィールド多摩国分寺館(国分寺市南町3-22-10)

2023年に実施した野川での調査結果や、プラスチックだけでなく合成洗剤や化学物質全般についてお話しいたします。

### 政策調整部

TEL 03-5426-5204

【NPO 法人コミュニティスクール・まちデザイン(CS まちデザイン)との共催企画】

### 食農共育講座

### ●レアメタルと気候危機～「脱炭素」の裏で何が起きているか～

12月12日(木) 10:30～12:30

講師：田中滋さん

(NPO 法人アジア太平洋資料センター(PARC)事務局長)

受講料：2,000円

再生可能エネルギーや電気自動車には、レアメタルが必要です。PARC制作のDVDを視聴して、ニッケル採掘現場で起きている衝撃の事実を知り、脱炭素のために私たちがすべきことについて考えます。

### ●家庭の食医 季節の養生法

講師：中島玲子さん

(漢方薬・生薬認定薬剤師、国際中医師、国際中医薬膳管理師)

受講料：2,800円/回

月1回の講座で、「目・耳・鼻・口・尿道」で起こりやすい症状を取り上げます。

12月17日(火) 10:30～12:30

「耳」の不調に対する養生法です。

1月14日(火) 10:30～12:30

「尿道」の不調に対する養生法です。

【NPO 法人CS まちデザイン】 TEL 03-5426-5212

【NPO 法人アビリティクラブたすけあい(ACT) 運動グループとの共催企画】

### まちの相談パートナー養成講座

### ●困難を抱えている親や子どもへの対応(オンライン講座)

12月16日(月) 13:30～15:30

講師：永田陽子さん

(NPO 法人子ども家庭リソースセンター副理事長)

受講料：3,000円 ※ACT 会員無料(年会費3,000円)

虐待やヤングケアラーなど、親子を取り巻く環境に問題意識を持つ方、困難を抱えている親や子どもを支援につなげるスキルを身に付けたい方におすすです。

【NPO 法人 ACT (アクト)】 TEL 03-5302-0393

【生活クラブ運動グループ東京連絡会との共催企画】

### ピアふえすた 2024

### ●ひとりの『わがまま』から、みんなの『それな!』に換えていくまちづくり(オンライン併用)

12月21日(土) 10:00～12:30

講師：富永京子さん(立命館大学産業社会学部准教授)

著書『みんなの「わがまま」入門』で意見の異なる人々と社会をつくる提案をしている講師より基調講演をいただき、市民が主人公のまちづくりを考えます。

### 役員室

TEL 03-5426-5202

※社会情勢を鑑みて、企画内容が変更、または中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

# 隙間時間を活用して デポーをサポート

生活クラブのお店デポーは、組合員自身が運営を担う組合員のためのお店です。発注やレジなど専門的なことをフローワーカースが担い、消費材の陳列や野菜の袋詰めなどの作業を組合員がワークとして行っています。あたらしい消費材や人との出会いのあるワークに、あなたも参加してみませんか？



## 選べるワークで自分にあった参加方法を見つけよう！

ワークとはあらかじめ登録した組合員が運営に必要な作業を行うことで削減された経費の一部をその組合員に還元するしくみです。



### フローワーク

消費材の陳列、野菜の袋詰め、フローアへの荷出しなど

### 組込ワーク

季節品カタログや広報紙など印刷物をひとまとめにセット

### 試食ワーク

生産者による消費材の紹介の時に試食の準備のお手伝い

### 情報ワーク

「組込ワーク」でひとまとめにした印刷物を近隣の組合員宅へポストイング

### 年末特別ワーク

予約のクリスマス・正月用品の仕分け、組合員へ受け渡し

ワークに参加しています！

## 新しく見つけたデポーとの関わりかた

年末のデポーでの受け取りの際にワークのチラシを買って、家も近いので軽い気持ちで登録しました。1回2時間からと隙間時間に出来るので続けやすいです。お子さんが幼稚園に行っている間にされている方もいます。野菜の袋詰めや消費材の陳列など簡単な作業が多いので、誰でも参加できる場所がおすすめです。旬の野菜を手にしながらレシピを教えあったり、来所した生産者とお話をしたり、作業しながらのコミュニケーションも楽しいです。

ワークした分はお金ではなくお買い物ポイントで還元される場所にも組合員活動らしさを感じています。無理なく自分のライフスタイルに合わせてできるワークをこれからも続けていきたいです。



まち・せたがや  
高橋 弘子さん

## まずは年末の特別ワークに登録しませんか？

ワークはデポー運営に必要な組合員活動(有償ボランティア)です。1時間のワークで食品のみに使える500円分のデポーお買い物ポイントとして還元されます。ワークシェアリングの考え方をベースにみんなで少しずつ作業を担います。

クリスマス・正月用品をスムーズに受け渡しができるように、たくさんのワークを募集しています。

詳細はお近くのデポーに  
お気軽にお問い合わせください▶



## ただいまクリスマス用の鶏肉、年末年始の鮮魚の予約受付中！



イメージ



イメージ

クリスマス用 生鶏肉 (丸鶏・骨付きモモ)

予約〆切▷ 11/30 (土)

受渡日▷ 12/21 (土) ~ 23 (月)

年末用 マグロ・ブリ・カンパチ・カニ

予約〆切▷ 12/7 (土)

受渡日▷ 12/29 (日)・30 (月)

詳細・申込みは  
各デポーまで

※いずれもデポーにて受け渡しとなります

デポーは 12/19 (木) ~ 30 (月) まで休まずオープン! 年始は 1/6 (月) から!

生活クラブ東京の  
最新情報を  
WEB・SNSで発信中!

生活クラブ  
東京



WEB サイト



Facebook



Instagram